

2023年7月8日（土）
第59回社会福祉セミナー
基調対談

「攻めの福祉」の可能性

雨宮処凛

作家、活動家、一般社団法人反貧困ネットワーク世話人

申請主義について

- ・そもそも自分が福祉の対象だと思っていない人が多い。
- ・申請しようと思っても行政用語が難解すぎる。
行政用語のバリアフリー化を。
- ・一字一句間違いなく伝えて「申請します」と言わないと出てこない。

コロナ禍での貧困

「新型コロナ災害緊急アクション」(2020年3月結成)

- ・ これまでに約2,000件のSOSを受ける。^{※1}

10～30代	60.0%
住まいなし	75.4%
携帯が止まっている	40.9%
女性の割合	19.4%
所持金100円以下	19.4%

- ・ 若年化が進み、女性の割合が増えているのが特徴。

もともと都内には約4,000人の「ネットカフェ難民」

2018年発表の東京都の調査※²

- ・ 1日あたり4,000人のうち、7割がアルバイトや派遣などの非正規労働。
- ・ 30代が38.5% 50代が27.9%
- ・ 1ヶ月の収入は11～15万円が最多

変わる支援現場の光景

- ・ 増え続ける、炊き出しや食品配布の現場に並ぶ人々。
- ・ コロナ以前、80人ほど → 2023年4月には723人。(新宿)
- ・ 中高年男性が中心だったのが、女性の姿も目立つように。
子連れの母親やカップルの姿も。

相談会などを訪れる女性の増加

- 2008-2009 年越し派遣村（日比谷公園）
6日間で505人。うち女性は5人(1%)。
- 2020-2021 コロナ被害相談村（新宿・大久保公園）
3日間で344人。うち女性は62人(18%)。
62人のうち、29%が住まいがなく、42%が収入ゼロ、
21%が所持金1,000円以下。
- 2021-2022 コロナ被害相談村（新宿・大久保公園）
2日間で418人。うち女性は89人(21%)。

コロナ禍での女性不況

- 2021年2月時点、女性の「実質的失業者」103万人
(株式会社野村総合研究所の試算※³)
- 増える女性の自殺
2020年、女性自殺者は前年比15.4%増の7,026人。
2021年は42人増の7,068人。
- 女性の非正規雇用率 56.4%
- コロナ禍で打撃を受けた飲食・宿泊で働く人の6割以上が女性。
そのほとんどが非正規。
- 非正規で働く女性の8割以上は年収200万円以下。

非正規雇用者の年収

正 規 496万円

非正規 176万円

男性非正規 228万円

女性非正規 153万円(2020年、国税庁調査※4)

- ・ 非正規女性の数は1,413万人(2021年、総務省調査※5)。
そのうち、夫がいる女性は6割弱。
4割強は、単身やシングルマザーなど、自らの稼ぎで生活しなければならない人たち。数にして560万人を超える。ここに対する支援がまったくくない。

電話相談の傾向

- ・ 3年間で労働相談は減り、生活苦の相談が増える。

「預貯金+手持ち金」の減少。

2020年8月	平均値	200万円以上	中央値	16万円
---------	-----	---------	-----	------

2021年6月	平均値	28万円	中央値	0円
---------	-----	------	-----	----

- ・ 残金は減る一方、増えているのは「借金・滞納」。

滞納は家賃、住宅ローン、公共料金、公的保険料、税金など。

電話相談や相談会に寄せられた声

- ・「大学生。コロナでアルバイトなくなり、親からの仕送りなく公共料金と携帯電話滞納中」(20代男性)
- ・「大学生。コロナでバイトがなくなり学費も払えないが、大学はどうしてもやめたくない。親からは虐待で逃げていて親には絶対に頼れない」(20代女性)
- ・「仕事がなく、アパートの家賃払えず、電気、ガス、水道停止。50円しかない」
- ・「離婚し保育園で働いている。借金があるので風俗のアルバイトもしてきたがコロナで収入が減り、やりくりができなくなっている」(40代女性)
- ・「臓器を売って自分の葬式代を出したい。臓器を売れるところを教えてほしい」(70代、タクシー運転手)

電話相談や相談会に寄せられた声

- 「解雇される。友人宅で居候、ネットカフェを転々とする。生活保護申請したが3回断られる」(60代女性)
- 「夫のDVから逃げて友人宅に身を寄せている。生活保護の相談に行っても『友人宅はダメ、シェルターに入ってもらおう』と言われる。親から虐待を受けて10代で家を出たが、その親に扶養照会をかけると言われた。死のうと思っている」(50代女性)

コロナ陽性・濃厚接触

- ・「介護施設でパート勤務。施設でクラスターが発生し、一週間前から自宅待機させられているが、休業手当があるか不安」(30代女性)
- ・「夫がコロナ感染で死亡。年金10万円で病気がちなので預貯金も近々尽きる」(70代女性)
- ・「コロナに感染し入院した。コロナは落ち着いたが肺の状態が悪く一般病棟に移ってそのまま1ヶ月ほど入院した。退院したあと、一般病棟に移ってからの請求が16万円ほど来た。支払いできない」

第5波・第6波・第7波で起きたこと

- ・ 支援団体の炊き出し・野外の相談会に発熱者が訪れる。
原則「自宅療養」の中、自宅がない感染者への対処法がない。
- ・ 第6波では、自宅療養者から「所持金も尽き、冷蔵庫も空。
このままでは餓死してしまう」というSOS。
自宅療養者は最大で約58万人(2022年2月)。そこに日本の貧困率
15.7%をあてはめると約9万人が貧困状態で自宅療養。
- ・ 第7波では、路上の40代女性(所持金数十円)からSOS。陽性が発覚。

ドイツの生活保護(布川日佐史さんに聞く)^{※6}

- コロナ禍すぐ、労働社会大臣がドイツ国民に利用呼びかけ(120万世帯増えることを見込んだ)。
- 2020年3月、家賃を滞納しても最大2年間は追い出せないルールができた。
- もともと持ち家・車の保有OK。扶養照会は基本なし。
- コロナ禍前、残金130万円で利用できた。
- コロナ禍以降、申請を簡素化。6ヶ月間は資産調査なし。残金約800万円以下であれば調査なしで利用可能に。オンライン、郵送。
- もともと家賃滞納があれば大家さんが公的機関に通報
→役所の担当が介入。

韓国^{※6}の生活保護(五石敬路さんに聞く)

- 名称を「国民基礎生活保障」に。
- バラで使える単給。家賃だけ、医療費だけ、教育費だけ。ボーダーライン層が段階的にいろいろな給付を受けられる。単給化によって貧困率も下がる。
- 死角地帯をなくす大キャンペーン。
きっかけはソウルの母娘3人練炭自殺。世論が動く。

反貧困犬猫部

小さな命を守るため
お力をお貸しください



「反貧困犬猫部」を立ち上げます

ペットとともに路頭に迷うケースが急増！



ました。

私たちは住まいのない方には緊急宿泊費を渡し、後日、公的な制度などにつなげるなどの支援をしていますが、犬がいるとビジネスホテルやネットカフェには宿泊できません。その日は野宿となりましたが、その翌日から、様々な方の協力で女性と犬が安心して宿泊できる場所を確保できました。一方、彼女が生活保護の相談に行った際、「犬を処分しろ」と言われたそうですが、生活保護はペットがいても利用することができます。ですが、一度ペットとともに住まいを失ってしまうと、アパート

生活に戻るまで様々な困難が待ちかたわっているのも事実です。また、女性とともに住まいを失った犬は、滞在場所が決まってから体調を崩し、継続的な治療が必要な病気になることが判明しました。

ペットを連れて住まいを失った人からの相談はこの女性からだけでなく、他にも来ています。コロナによる経済停滞が続く中では、これからも増えることが予想されます。このような事情から、私たちは「反貧困犬猫部」を立ち上げ、寄付金を集めることにしました。

フード代や宿泊費、病院代など、飼い主とともに住まいを失った犬や猫などのペットを支援する取り組みです。ありがたいことに、活動に理解を示してくださる動物病院にも出会えました。コロナ禍で、困っているのは人間だけではありません。小さな命を守るため、ぜひ、お力をお貸しください。

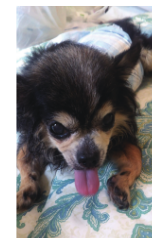
(反貧困ネットワーク世話人 作家・活動家 雨宮処凛)

■反貧困犬猫部・部員：雨宮処凛・藤原剛・瀬戸大作

小さなワンコを抱きしめる女性が暮っていた（活動日記より）

5月27日の夕方、505が雨だった。「所持金がなく、住むところも、家賃未払いで追い出されて、飼ってる18歳の高齢小型犬がいるため、ホテルも子カフェも泊まれません。仕事も細々とやっていますが、お金が受け取れるのが、来月半ば以降で困ってます。私も犬も、昨日から食べてません。犬でも食べられる食料頂けたら、助かります」。我が家の愛犬パンピの顔を見たら「悩んでいないで早く助けにいけよ！」と言っているようだ。パンピから半生ペットフード10日分を支援頂き、都内某所に駆けつけた。到着したのは22時過ぎだった。小さなワンコを抱きしめていた女性が暮っていた。家を失い飼い主と一緒に必死に生きてきた。4月中旬から野宿生活、でも遅くなり高齢犬には辛い、引き継ぎす訳にはいかない。原発事故で避難指示がされた時に多くのイヌネコが残された。福島に向かい残されたイヌネコたちにご飯を配りにいった時、帰る時の寂しく哀しみに溢れた表情を忘れられない。18歳のワンコのいのち、飼い主さんと抱きしめあひまひがら、静かに穏やかに過ごしてほしいのです。

(反貧困ネットワーク事務局長 瀬戸大作)



【寄付金・振り込み先】

- ▶郵便振替/口座番号：00170 - 5 - 594755 / 加入者名：反貧困ネットワーク
- * 通信欄に「イヌネコ」と記入ください。銀行の場合はその旨メールしてください。
- ▶銀行振込（※ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振り込み）
銀行名：ゆうちょ銀行 / 金融機関コード：9900 / 店番：019 / 店名：〇一九店（ゼロイチキョウ店）
預金種目：当座 / 口座番号：0594755 / 受取人名：ハンピンコンネットワーク

問合せ 反貧困ネットワーク メールアドレス：offic@ntipoverty-network.org
基金担当 瀬戸大作（反貧困ネットワーク事務局長） Tel 090-1437-3502 setodaisaku7@gmail.com

出典

- ※ 1 一般社団法人反貧困ネットワーク「新型コロナ災害緊急アクション調査資料」，2023年。
- ※ 2 東京都福祉保健局生活福祉部生活支援課「住居喪失不安定就労者等の実態に関する調査報告書」，2018年1月。
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/01/26/14.html>（2023年5月18日閲覧）
- ※ 3 株式会社野村総合研究所ニュースリリース「野村総合研究所、パート・アルバイトの中で「実質的失業者」は、女性で103万人、男性で43万人と推計ー引き続きの支援策の認知・利用促進による経済支援に加え、労働移動支援が課題ー」，2021年3月1日。
https://www.nri.com/jp/news/newsrelease/lst/2021/cc/0301_1（2023年5月31日閲覧）

出典

- ※ 4 国税庁長官官房企画課「令和 2 年分 民間給与実態統計調査－調査結果報告－」，2021年 9 月。
<https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/minkan2020/minkan.htm>
(2023年 5 月18日閲覧)
- ※ 5 総務省統計局「令和 3 年 労働力調査年報」，2022年。
<https://www.stat.go.jp/data/roudou/report/2021/index.html> (2023年 5 月18日閲覧)
- ※ 6 雨宮処凛『学校では教えてくれない生活保護』，河出書房新社，2023年。
- ※ 7 一般社団法人反貧困ネットワーク作成資料，2020年。